

自主・友愛・剛健

しっかりと先を見ながら、よい年に…。

まもなく新型コロナウイルス感染症の第5類への移行が行われ、学校内での対応も少しずつ変えていかなければならない時期になりました。しかし完全に終息したわけではなく、まだまだ気は抜けない日々が続くと感じています。そのような中、4月7日に新2・3年生が始業式を、そして10日に新1年生64名を迎え、全校生徒165名で令和5年度をスタートしました。着任式、始業式、そして入学式全てで『人の心の温かさが織りなす柔らかい空気』を感じることができました。おそらく生徒の皆さんが、少し気持ちに余裕があるためだと思います。自分自身に余裕があるからこそ周りに対しても優しく接することができると思います。この一年間、自分のペースを守りながら過ごしていけるといいですね。

4月28日の参観日・PTA総会には、平日にも関わらず多くの保護者の皆様にご参加いただきました。誠にありがとうございました。古城新会長からのお言葉にもありましたが、コロナの関係で中止になっていた活動を再開することは、非常に力が必要なことだと思います。どうぞ積極的なご支援をいただきますようお願いいたします。なおPTA総会の中で、“確認テスト”について簡単に説明しておりますので、以下に掲載しておきます。参考になさってください。



《確認テストについて》 5月22・29日、10月23・30日実施

- 今回の新しい取り組みに対して、生徒へは教科担当から必要に応じて説明がなされています。そうすると保護者の皆さん方が不安になられていると思います。一番は「定期テストなしで、どんな形で成績が付くの？」ということだろうと思います。
 - 今までも定期テストのみで成績はつけられてはいませんでした。各教科担当は、様々な成績を付けるための資料を準備しています。(概要は、すでに配布している“学習の手引き”を参考にしてください)本来、テストは生徒が「自分の中に学力が定着しているか」を確かめるためのもので、教員は生徒の理解度を確認し、テスト後の必要な手立てや支援を行う資料とします。もちろん成績の資料の一部にもなります。
- 現在、学習指導要領の改訂により、授業の進め方や入試問題等の変化に対応する必要があります。教科書の一部分を問う問題から、ある程度の塊、いわゆる“単元”を通して全体を理解していないと解答できない問題へと変化しています。特に入試問題は、中学校三年間の学習内容が総合的に定着しているかを確認するテストです。そこに対応するためには、自分で学習習慣を身につけて、テスト前だけ一気に集中して良い点を取るためだけに勉強するのではなく、日頃より自分で計画を立てて学んでいくことが必要です。一夜漬けに頼り、ヤマを張り、直前に詰め込むことでは対応できないと思います。そこで単元テストや小テストといったテストを行うことで『自分の分からないところを確認する』必要がでてきます。生徒はそういった確認テストを行うことで、日々、よい意味での“小さなあがき”をして力を付けてほしいと思います。
 - 全国的には定期テスト(中間テスト・期末テスト)を廃止し、今回のような確認のためのテストを実施する学校が増えていますが、一度に大きく変化させると皆さんもなかなか対応できないと思います。特に2・3年生はそういう思いが残ると思います。そこで今年は、期末テストのみを残し、中間テストを確認テスト(実施時期までに学習を終えている単元が範囲)ということで実施します。教科によって、単元の長短があり、本来は同時期に行うことが出来ないのですが、今年に関しては各学期に2週に渡って実施しようと思っています。もちろんテスト範囲は事前にお知らせします。今後、検証を重ねながら様々なテストの実施方法を検討していきます。

【5月の主な行事】※詳細につきましては、“中央中学校ホームページ”をご確認ください
9日：2年生内科検診 10日：1年生内科検診 12日：苫田・久米郡総合体育大会
15日：教育相談（～26日） 16・17日：検尿
17日：久米郡教育研究会（午後：家庭学習） 18日：保小中合同引き渡し訓練（午後）
19日：1年生心音・心電図 19日：職員会議 22・29日：確認テスト
25日：学校運営協議会 26日：耳鼻科検診 31日：生徒総会

温かい雰囲気の中でお別れができました…

今年の人事異動で11名の方が転出されました。新しい職場でのご活躍をお祈りします。長い期間お勤めいただいた方も多く、学校の中心的存在が居られなくなり、学校としては若干の不安が募ります。しかし、新しく9名の方を迎え、また、新しい中央中学校を創って参りたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。



《転出者》

※ 詳細は、紙媒体にて。

《転入者》



つばやき…

※今年も、気になったことや思いついたことを書いています。読んでみてください…。

4月23日から2泊3日で修学旅行に行ってきた。昨年度に引き続き、長崎原爆被災者協議会の増川雅一さんに今年も講演をお願いした。4月に82歳を迎えられたとのこと。昨年度も感じたことだが、増川さんは原爆の悲惨な歴史をわかりやすく伝えられるのはもちろんのことだが、それ以上に今を…、そして未来に向けて平和な世界を…と強く思われているのを感じる。人に伝えることの難しさ、そして自分が伝えた人たちが、ほんの少しでもよから行動に移してくれることの難しさを実感されていると思うが、増川さんの話を聞くとちょっとした行動に移さなければ…と思う日々である。（来月号では、少し自分なりのアピールを…）